

「北九州・苅田 防災シンポジウム」 北九州芸術劇場で開催

7月13日「北九州・苅田 防災シンポジウム」（主催：西日本工業大学 総合防災研究所）が開催されました。シンポジウムでは、令和6年能登半島地震の教訓をテーマに、国立病院機構本部 DMAT 事務局次長の近藤久禎氏による基調講演や、現地に災害派遣された苅田町職員の大賀幸希さんが活動を報告しました。大賀さんは、「災害が起これば、全員が被災者です。少しずつ各自でできる災害対策を考えてみませんか」と話しました。



苅田まちづくり観光協会主催 白石海岸クリーン大作戦を実施

町で唯一の自然海岸である白石海岸をきれいにしようと、苅田まちづくり観光協会主催の清掃活動が7月7日に行われました。この活動は、令和4年度から実施され、今年で3回目。清掃活動には、地元住民をはじめ、苅田町漁業協同組合、苅田港周辺に立地する企業、関係行政機関など約270名が参加。当日は、ごみ袋約200袋分（1トン）を回収しました。参加者は、「今後も綺麗な白石海岸を守っていききたいです」と話していました。



「僕、ヤングケアラーでした。」 徳井さんが自身の経験を語る

7月の福岡県同和問題啓発強調月間に合わせ、本来なら大人が担う家事や家族の世話をを行う子ども「ヤングケアラー」問題を知ってもらおうと、町は、7月26日中央公民館で人権講演会「僕、ヤングケアラーでした。」を開催しました。講師に芸人の平成ノブシコブシ徳井健太さんをお招きし、約350名が参加。参加者からは「自覚がない子がほとんどという言葉が印象的だった」など感想が寄せられ、貴重な講演会となりました。



中南米エルサルバドル共和国へ JICA 海外協力隊派遣報告

苅田小学校教諭の井上彩奈さんが国際協力機構（JICA）海外協力隊派遣報告のため8月1日、町長・教育長を表敬訪問しました。8月から令和8年3月までエルサルバドル共和国に派遣され、現地の小学校で算数の授業や行事の支援を実施。井上さんは「活動言語はスペイン語でゼロからのスタートだが、現地の人々がどのように生活しているのを見て、日本の子どもたちに世界での体験を伝えたい」と派遣の意気込みを語りました。



まちの話題 KANDA TOWN TOPICS

宝くじの助成金を活用 新津区が音響設備を整備

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの受託事業収入を財源に、地域活動に必要な施設の整備などに対して助成を行っています。この度、新津区で助成金を活用して音響設備を購入しました。7月20日に開催された「第11回夏まつり in あらつ」では購入した音響設備を使用。梅田区長は「おかげで夏まつりが大いに盛り上がりました。これからも大事に使っていきたいです」と話していました。



殿川の自然環境を守る活動 馬場小学校4年生がホタルを放流

「殿川とホタルを守る会（松岡麻利子会長）」の皆さんが、馬場小学校の4年生と一緒に7月8日、殿川上流にホタルの幼虫を放流しました。この活動は、殿川の自然環境を守る活動の一環で行われており、児童たちはこれまで「ホタルの飼育と放流」について学習し、当日は、育てた幼虫およそ4,000頭を放流。児童たちは、「多くのホタルが元気に育ち、殿川を飛び交ってほしい」と願いを込めて放流していました。



まちの話題 KANDA TOWN TOPICS

「苅田港海の日」記念行事を開催 海事関係功労者を3名表彰

「苅田港海の日」記念行事として、7月18日に海事関係物故者慰霊祭、船舶航行安全祈願祭、記念式典が町内各所で開催されました。三原文化会館での式典では「海事関係功労者表彰」が行われ、(株)上組門司支店苅田出張所の大東義信さん、中村博昭さん、(株)みやこ産業の高畑伸一さんが苅田港海の日協賛会会長表彰を受賞しました。受賞者の大東さんは「使命、役割を十分に認識し、一層職務に励みたい」と話しました。



港湾の振興と発展に多大な貢献 苅田港湾事務所長から町長へ感謝状

遠田町長が7月18日、令和6年「海の日」九州地方整備局長表彰として、苅田港湾事務所の高山所長から感謝状を授与されました。今回の感謝状は、港湾事業の推進と整備促進に向けた活動に対し、感謝の意を表すことを目的とし贈られました。遠田町長は「ありがとうございます。これからも新松山地区を始めとした苅田港の発展のために精一杯努めてまいります」と思いを述べました。

